

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐりー54

大学の博物館



平野 武宏

コロナ禍での外出自粛や休館で行けなかった大学の博物館に行ってきました。いずれも入場は無料です。写真右上は東京大学駒場キャンパスの銀杏並木です。

[千代田区一6]

[共立女子大学博物館] 千代田区一ツ橋 2-6-1 2号館地下1階
最寄駅 都営地下鉄三田線 神保町駅

共立女子大学神田一ツ橋キャンパスは神保町駅A8出口から地上に出て、目の前の共立学園通りを直進、2号館へ行きます。本館や共立講堂は左側にあります。共立女子大学は1886年（明治19年）女性に専門的知識と高度な技能を習得させるため、先覚者34名によって「共立女子職業学校」として創設されました。その後「共立女子専門学校」を経て1949年（昭和24年）新制 共立女子大学として発足しました。2号館（写真下左）の地下1階に「共立女子大学博物館」があります。創設以来長年にわたり収集されてきた日本と西洋の服飾品やその他の工芸品、美術品が多数収蔵されて教育資料として活用されました。2016年（平成28年）創立130周年記念を機に「共立女子大学博物館」が新設されました。写真下右は地下1階博物館の入口で写真撮影はここまででした。



博物館のコンセプトは「和と洋が会う博物館」で4つの柱は「きもの、漆工芸、西洋服飾、ガラス工芸」です。2022年4月14日～6月4日は「共立女子大学コレクション8」が開催されていました。服飾・染織品を中心とした展覧会で日本の先住民族アイヌの装束や琉球の紅型衣装、ヨーロッパやアジアなどで製作された個性豊かな作品がありました。



開館は10時～17時、休館日は土曜日・日曜日・祝日・大学が定める休日です。

[目黒区一2]

[東京大学駒場博物館] 目黒区駒場 3-8-1

最寄駅 京王井の頭線 駒場東大前駅

渋谷駅から来る場合は最後尾車両で降りると正門に最短で行けます。写真下左の1号館（旧制第一高等学校本部）の右手前に東京大学駒場博物館（写真下右）があります。



東京大学駒場キャンパスは現在の東京大学農学部の前身の「駒場農学校」の校地で、農学部が向ヶ丘（本郷キャンパスの一部）の「第一高等学校」と校地を交換して移転しました。第一高等学校は新設の東京大学と包括され廃止となるまで、ここを校地としました。新制大学移行により第一高等学校は東京大学教養学部となりました。東京大学の全学部前期課程の学生は駒場キャンパスで学びます。



博物館エントランスコーナーで常設展

「オマーン展」が開催中（写真左）。

その先の1階展示室北側では「もうひとつの一高」展が開催中（写真下左右）。

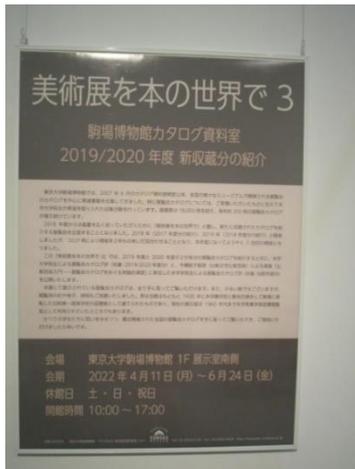
1945年（昭和20年）頃まで旧制第一高等学校で留学生課長を務めた藤木邦彦（1907～1993）が残した中国人留学生関係の文書群の「藤木文書」が初公開とのことです。



1階展示室南側は「美術展を本の世界で3」展で2019/2020年度 新収蔵の紹介です。2007年6月駒場博物館カタログ資料室の開室以来、全国の様々なミュージアムで開催される展覧会のカタログ（図録）を収集しています。

2018年度から「美術展を本の世界で」と題し、新たに収蔵されたカタログの紹介を始めました。室内四方の壁に展示のカタログは手に取って見ることが出来ます。写真下右の中央は閲覧者用の座席です。

「もうひとつの一高」と「美術展を本の世界で3」は2022年4月11日～6月24日まで開催されています。開館時間は10時～17時、休館日は土曜日・日曜日・祝日・大学が定める休日です。



寅さん歩 218 東京の学食めぐりー23 をご覧ください。

〔こぼれ話〕 駒込池 (愛称 一二郎池)

東京大学本郷キャンパスの構内には「育徳園心字池」があります。夏目漱石の長編小説「三四郎」で主人公の小川三四郎が女性とこの池で出会うことから「三四郎池」と呼ばれています。駒場キャンパス構内の博物館の右側先にも池がありました。名前は公募で「駒場池」と決まったそうですが、本郷キャンパスの「三四郎池」に対して愛称「一二郎」だそうです。目黒川の支流の源流で明治時代の農学部では養魚場だったとの記録があるそうです。



〔世田谷区一2〕

〔昭和女子大 光葉博物館〕 世田谷区太子堂 1-7-57

最寄駅 東急田園都市線 三軒茶屋駅

三軒茶屋駅改札を出ると、左に日本女子大学方面の出口が表示されています。地上に出たら玉川通りに沿って渋谷方面へ進んでください。

学生さんの多くは途中から分かれて別の門から入りますので、ついて行くと外来者が受付をする正門（写真下左）は遠くなります。1994年（平成6年）4月11日に開館の昭和女子大 光葉博物館は構内中央の通りの正面にあるB7研究館（写真下右）にあります。「光葉」とは同校の同窓会の名称です。



建物内の撮影は博物館入口（写真下左）まででした。春の收藏資料展として「沖縄復帰50周年記念 沖縄の民具と工芸～川平朝清コレクションを中心に～」が開催されていました。開催期間は2022年4月2日～6月26日で開催時間は10時～17時です。休館日は土曜日、日曜日、祝日です。



昭和女子大学の前身は詩人の人見直吉

（ペンネームは人見東明）が1920年（大正9年）創設した「日本女子高等学校」です。人見は良妻賢母が女子高等教育の主流であった当時の社会風潮に対し、開かれた女性の確立を目指しました。その後、「日本女子専門学校」を経て1949年（昭和24年）「昭和女子大学」になりました。現在はこども園（就学前教育）から小・中・高・大学・大学院博士課程を世田谷キャンパス内に集約しています。又1988年ボストンに海外キャンパスを創設、単位留学のシステムを日本で初めて取り入れ、2006年キャンパス内に英国式インターナショナルスクールを開校、

2019 年には米国大学日本校のテンプル大学ジャパンキャンパスも併設しています。訪問当日も構内で外国人の姿を見かけました。

写真下左は構内の「人見記念講堂」、写真下右は博物館左脇にある日本庭園です。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、5 月 26 日日光から 31 km の地点（江戸深川から 175 km）に到着しました。芭蕉が向かった那須の黒羽まではまだ 36 km あります。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝